

各機関の令和6年度の実績

能代市	-----	P 1
北秋田市	-----	P 4
大館市	-----	P 5
鹿角市	-----	P 7
小坂町	-----	P 9
藤里町	-----	P 1 0
上小阿仁村	-----	P 1 1
八幡平市	-----	P 1 5
秋田県	-----	P 1 6
岩手県	-----	P 3 0
東北森林管理局	-----	P 3 1
東北運輸局	-----	P 3 2
能代河川国道事務所	-----	P 3 3

R6.5.26 能代市総合防災訓練

- ☆ 近年の災害等を教訓に、災害対策基本法及び能代市地域防災計画に基づき、様々な災害を想定した防災訓練を実施しました。
- ☆ 前線が東北北部に停滞し、暖かく湿った空気が流れ込む予報となり、県内は広い範囲で大雨となる見込みという想定から、能代市消防団、悪土川流域の自主防災組織による水防対策訓練を行いました。
- ☆ 大雨、洪水、暴風警報により、悪土川流域に高齢者避難が発令されたという想定から、地域住民の避難訓練、自主防災組織による避難所開設運営訓練を実施しました。

《実施期間：能代市、能代市消防団、能代消防署、悪土川流域自治会自主防災組織連絡協議会》

実施状況



自主防災組織による積み土のう



高齢者避難に伴う避難訓練

R6.6.2 能代市水防訓練

- ☆ 出水期にあたり、水防機関の士気の高揚と水防技術の向上、水防体制の強化を図ることを目的とし、水防訓練を実施しました。
- ☆ 訓練場所：能代市二ツ井町字滑良子端地内 桜つつみ公園（二ツ井地区）

《実施機関：能代市、能代市消防団、能代山本広域市町村圏組合消防本部》

実施状況



土のう作製



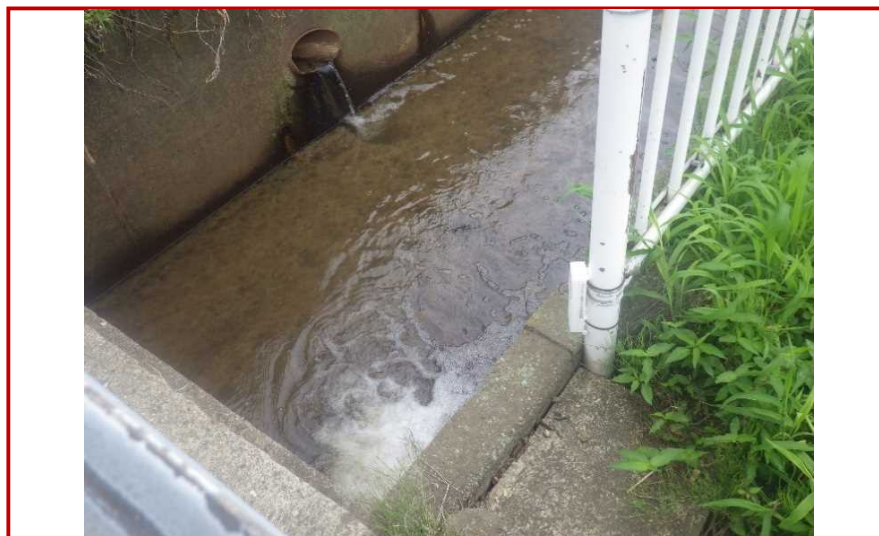
積み土のう工法

ワンコインセンサーの設置について

- ☆ 令和5年7月の大雨において、大規模な浸水被害が生じたことを踏まえ、大雨の際、悪土川周辺の浸水情報を把握することを目的に、令和6年度に国土交通省で実施する「ワンコイン浸水センサ実証実験」の実施地区として応募しました。
- ☆ 設置する企業は、山形県酒田市の株式会社テイデイイーで、京セラ株式会社製4台、NTT製の2台を8月までに設置完了しております。

《実施機関：能代市、株式会社テイデイイー》

実施状況



設置状況



ワンコインセンサー本体

- 開催日：令和6年6月2日（日）
- 場 所：北秋田市鷹巣字西大柳岱地内（米代川右岸 鷹巣橋下流河川敷）
- 実施内容：シート張り工、積み土のう工、改良積み土のう工
簡易水防工法
- 説 明：今年度は、消防団のほか、自主防災組織に参加し、一般家庭にある材料を用いて浸水を防ぐ簡易水防工法を実施し、水防技術の向上のほか、地域防災力を高め、地域との連携強化を図った。

（実施機関：北秋田市）

実施状況



防災パネル展 ～市民ふれあいプラザ～

- 開催日：令和6年6月7日（土）
- 場 所：市民ふれあいプラザコムコム
- 実施内容：令和5年7月及び令和4年8月大雨災害記録のパネル展示
市広報誌で連載している「防災かわら版」のパネル展示
避難所で使用するパーテーション、段ボールベット等の展示
備蓄食料品（パン、おかゆ、保存水）の提供
防災パンフレットの提供

（実施機関：北秋田市）

実施状況



令和6年度 大館市水防訓練の実施

☆台風の接近等に伴う大規模な河川のはん濫や局地的豪雨による中小河川の越水等の水害を想定し、土のう作りやロープ結着等の基本訓練及び想定訓練をとおして水防団の活動連携を確認することにより、水防団の総合的な水防活動能力の強化を図り、水害対応へ万全を期することを目的に開催しています。

☆令和6年5月26日（日） 外川原地区米代川河川緑地
大館市水防団（消防団）、大館市消防本部（署）

《実施機関：大館市》

実施状況



令和6年度 緊急浚渫事業債を活用した取り組み

☆大館市が管理する米代川水系の普通河川112河川（管理延長356km）のうち、大館市個別施設計画に基づき10河川（計画延長3.70km）を対象に緊急浚渫事業債を活用した取り組みを進めている。

- ・ 令和5年度 （実施済） 杉沢川ほか1河川 L = 356mの堆積土砂掘削
- ・ 令和5年度繰越（実施中） 粕田川ほか2河川 L = 688mの堆積土砂掘削
- ・ 令和6年度 （予定） 粕田川ほか3河川 L = 870mの堆積土砂掘削

（実施機関：大館市建設部土木課）

実施状況

令和5年度緊急浚渫推進事業債を活用し、実施した普通河川
（R5施工：杉沢川）



着工前



完成

☆「防災の日」（9月1日）及び「防災週間」（8月30日から9月5日まで）に合わせ自治体広報誌「広報かづの」を活用し防災啓発を行った

（実施機関：鹿角市）

実施状況

災害用伝言ダイヤル「171」の利用方法

伝言の録音と再生ができます。

- ①「171」にダイヤル
↓↓（音声ガイダンスが流れる）
- ②録音の場合「1」を押す
再生の場合「2」を押す
↓↓（音声ガイダンスが流れる）
- ③連絡を取りたい電話番号を入力
例）0186-●●-●●●●●●
※市外局番からダイヤル
※携帯電話も録音可能
↓↓（音声ガイダンスが流れる）
- ④ガイダンスに従って録音（再生）

「防災士」の資格取得を応援します

自治会や自治体職員における防災活動のリーダーとなる人材を育成することを目的に、防災士の資格取得を奨励する人を募集しています。防災士になるためには、秋田市で開催される研修講座（2日間）と、消防機関で実施する救命救急講習を受講後、資格取得試験に合格する必要があります。

県と市が共同で実施する防災士養成事業では、実務科目で資格を取得できますので、希望する人は総務課を連絡先（☎30-0299）までご連絡ください。

市内の避難所一覧

防災ラジオやメール配信サービスなどで、避難所の開設情報を発信しますので、情報を収集し、お近くの避難所に避難してください。

※開設状況について
○ 開設します
△ 他の避難所開設で優先
× 開設しません

家族士の防災確認方法は、決まっていますか？

別々の場所にいるときに、災害が発生した場合はお互いの安全を確認できるよう、日頃から安全確認の方法をお合意ください。事前に話し合っておきましょう。災害時には、携帯電話の音が「つながりたくなくなり」連絡が取れない場合もあります。

その際には、「災害用伝言ダイヤル」のサービスを利用しましょう。

雨れやすい地のほか、河川の氾濫により家が浸水する恐れのある区域に任されている人は、大雨の時に避難が必要です。

昨年4月1日土曜日に発生した「総合防災マン」では、土砂崩れの災害の危険度が高い箇所を特定した土砂災害警戒区域や、河川氾濫した場合は「171」で伝言する事ができます。

自宅の周辺にどのような危険があるのか日頃から確認しておきましょう。

いざ災害が起きた時に慌てず避難するためにも、避難場所と避難経路を事前に確認しておきましょう。

市でも開設する避難所は下記のとおりですが、災害の規模に応じて小・中学校など第2避難所として開設する場合があります。

地区	避難所名称	所在地	児童数	対応
市街	文化の社交広場コッセ	赤十字八正 13	×	○
	舞子地区公民センター	赤十字ノ内 12-1	○	○
	大森センター	赤十字高田 1-1	○	○
十和田	大森（旧庁）プラザ	赤十字高田 12B-1	○	△
	常盤橋センター	赤十字下町 50	○	△
鹿角	大森地区市民センター	十和田大森字常盤 22-1	○	○
	十和田市民センター	十和田大森字内子 7-5	○	○
鹿角	鹿角地区市民センター	十和田鹿角字新田 91-1	×	○
	鹿角市民センター	鹿角字新田 46-5	○	○
八幡平	八幡平市民センター	八幡平字小森 114	×	○
	市内地区市民センター	八幡平字神の 100	○	△



災害から身を守るために

災害が発生したとき、最も大切なのは自分の命を自分で守る「自助」の意識。日頃から一人一人が防災対策を心がけることで、災害時の被害を少なくすることができます。

●総務課 危機管理室 ☎ 30-0299



過去の大地震は、多くの人が倒れてきた家具の下敷きになって亡くなった。大げな家具は、大地震発生したときは「家具は必ず倒れてくるもの」と考えて、壁に固定するなど転倒防止対策をしておく必要があります。

食料・飲料水などの備蓄は十分ですか？

電気やガス、水道などのライフラインが止まった場合に備えて、普段から飲料水や保存の効く食料などの備蓄をしておきましょう。

防災のために特別なものを準備するのではなく、普段の生活の中で利用している食料や飲料水を備えるようにしましょう。

非常用持ち出しバッグの準備はできていますか？

自宅が被災したときは、安全な場所に避難し、避難生活を送ることになります。先述のように持ち出しものをあらかじめリュックサックに詰め込んでおく、いつでも持ち出せるように準備しておきましょう。

もしもに備え、情報収集手段は万全ですか？

気象情報などに応じて「鹿角市」

鹿角市防災ラジオ

市では、災害発生時に緊急放送を発信します。通常のラジオ放送を受信しながら、緊急放送を自動的に受信する機能を持つ「防災ラジオ」を1台 3,500円で貸し出しています。

※自治体防災協議会が協賛組織に加入している世帯の8割以上の世帯にまとめて配布する場合は、貸与費用を1台 2,000円に減額します。

※5年以上の利用で返却の必要がなくなります。

鹿角市メール配信サービス

e-kazuno@expressmail.jp

上記アドレスに空メールを送信すると登録用のメールが返信されます。画面に入力することで登録できます。

※防災情報のほか、設定することでさまざまな情報を受信できます。

鹿角市ホームページ

防災情報を発信しています

防災情報ポータルサイト

防災情報ポータルサイト

☆令和6年5月26日に行われた、鹿角・小坂水防訓練へ自主防災組織9団体から参加をいただき土のう制作訓練を行う。訓練で制作した土のうは自主防災組織へ配布した。

☆自主防災組織へは土のうストックヤードを設置しており、配布された土のうを備蓄している。

(実施機関：鹿角市)

実施状況



土のう製作の様子



土のうストックヤード

- ☆ 出水期に備え、水防技術の向上と水防体制の強化を図り、あわせて地域住民に対する水防の重要性についての認識を高め理解と協力を得ることを目的に実施した。
- ☆ 令和6年5月26日（日） 鹿角市花輪字観音堂（米代川右岸 久保田橋下流）
鹿角市、小坂町、鹿角市消防団、小坂町消防団、鹿角市内自主防災会

（実施機関：鹿角市、小坂町）

実施状況



木流し工（洗掘防止）訓練

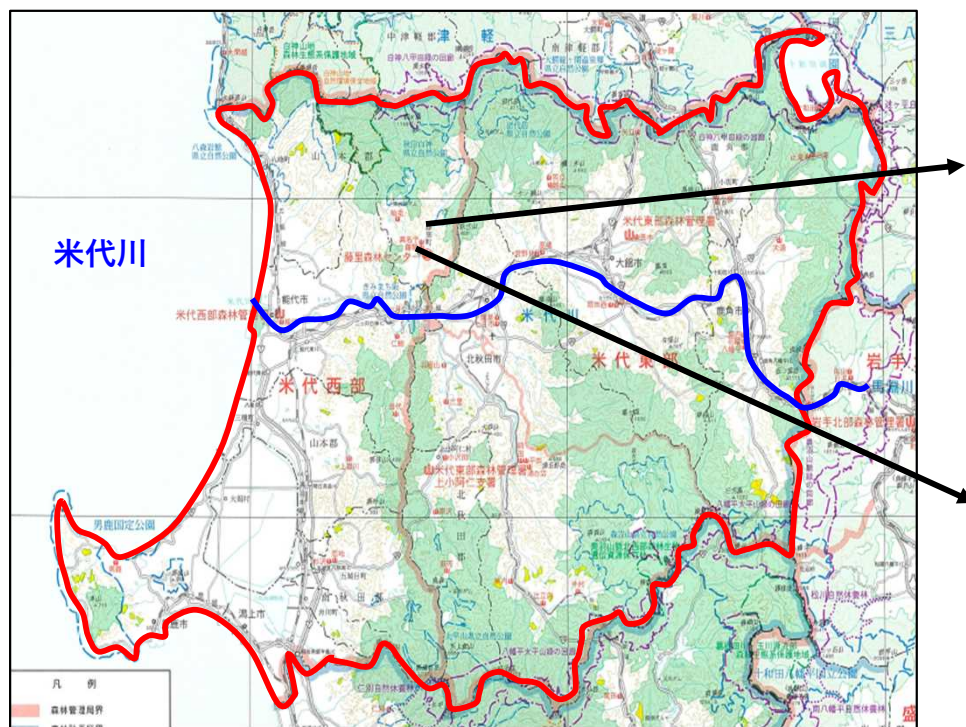


木流し工（洗掘防止）訓練

☆水産振興の一環として、町と粕毛漁業協同組合と共同で稚鮎の放流を実施しています。
令和6年度も、藤琴川・粕毛川の8箇所において稚鮎を放流しました。
☆毎年、幼稚園児に水辺の環境に興味を持ってもらうため、幼稚園傍の藤琴川で、鮎の放流体験も同時に実施しています。

(実施機関：藤里町)

実施状況



稚鮎放流事業の一例（藤琴川の2箇所）



【放流事業】
町と粕毛漁業協同組合による藤琴川森合橋付近での放流事業実施状況



【放流体験】
藤琴川の藤琴橋付近で藤里幼稚園年長児12名が参加し、放流体験を実施

H24～ 上小阿仁村防災監視カメラ

平成24年度から、村独自で防災監視カメラを設置し、村ホームページ上で公開しています。監視地点は、①上小阿仁村生涯学習センター裏の小阿仁川、②国道285号上の新羽立橋付近の小阿仁川の2地点です。

大雨や上流の萩形ダムの放流等による小阿仁川の増水状況が、インターネットで確認できるため、住民だけでなく、他地域に住む家族なども村の状況を確認することができます。

《 実施機関：上小阿仁村 》

実施状況



The screenshot shows the homepage of Kamikoani Village. At the top, there is a header with the village name and logo. Below it, a red banner indicates 'Emergency Information' (緊急情報) with the text '現在、役場からの緊急情報はありません。' (Currently, there is no emergency information from the town hall). A green banner shows the 'Current Site Location' (サイトの現在位置) as 'トップ⇒くらし⇒防災情報'. A green button indicates the last update on '2023年3月23日' (March 23, 2023). Below this, there are social media sharing buttons for Twitter, Facebook, and LINE. The main content area is titled '防災情報 (ライブカメラ)' (Disaster Information (Live Camera)). Underneath, there is a section for '上小阿仁村防災監視カメラ' (Kamikoani Village Disaster Monitoring Camera) with the description '生涯学習センターと羽立橋付近の小阿仁川の映像です。' (This is a video of the Kamikoani River near the Lifetime Learning Center and Hanabishi Bridge). Another section for '秋田県河川砂防情報システム' (Akita Prefecture River Sand Prevention Information System) is also visible. At the bottom, there is contact information for the '住民福祉課 住民福祉班' (Resident Welfare Section, Resident Welfare Class).



The screenshot shows a live video feed from a camera titled '新羽立橋カメラ' (Hanabishi Bridge Camera). At the top of the video frame, there are controls: '最新情報に更新' (Update to latest information), 'MAPへ戻る' (Return to MAP), and '自動再生する (5秒おきにリロードします。)' (Auto-play (Reloads every 5 seconds)). The video timestamp is '2023/07/03 10:51:00'. The video shows a wide view of the Kamikoani River flowing under the Hanabishi Bridge. The riverbank is green with grass and trees. The sky is overcast.

R6.6.11 稚アユの放流事業

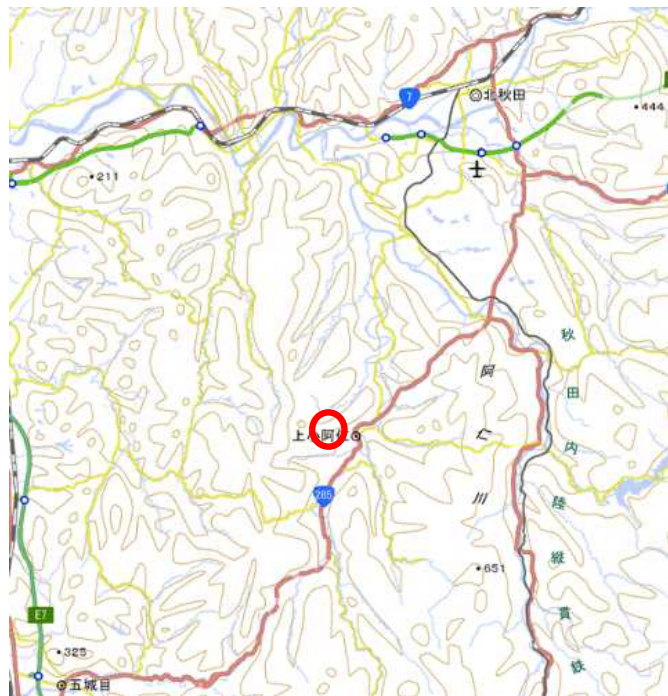
毎年、上小阿仁小学校4年生による稚アユの放流事業を実施しています。

上小阿仁小学校の児童が、川にアユを放流する体験をとおり、小阿仁川をはじめ自然を美しくしていくことの大切さを意識づけるとともに、水産資源を維持することを目的として開催しています。

放流場所：上小阿仁村沖田面 春沢橋下流

《 実施機関：上小阿仁村 》

実施状況



上小阿仁小学校4年生9人が、一人ひとり稚アユを放流しました。

R5.7.28 「災害時における飲料供給に関する協定」 締結式

村では、みちのくコカ・コーラボトリング株式会社との「災害時における飲料供給に関する協定」を締結いたしました。

本協定は、上小阿仁村において災害が発生した場合又は発生の恐れがある場合の飲料供給に関して必要な事項を定めています。

締結式では、みちのくコカ・コーラボトリング株式会社の佐藤茂正秋田営業部長と小林村長が協定書を取り交わしました。

村では災害備蓄品として一定数の飲料水は備蓄しておりますが、大規模災害や避難生活の長期化に備え、飲料水の確保体制の強化が図られました。

《 実施機関：上小阿仁村 》



令和5年度 上小阿仁村消防団分団研修(水防団研修)

上小阿仁村消防訓練大会にあわせて実施していた水防訓練が、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったままとなっていたことから、令和5年度においては各分団が実施する分団研修のメニューに土のう積工訓練を追加し実施しました。

分団研修では、土のう積工のほか、ロープ結着訓練などを行い、水防活動能力の強化が図られました。

《 実施機関:上小阿仁村 》



○令和5年度北上川上流総合水防演習（写真：左側）

一関市の磐井川左岸東大橋下流河川敷において、8年ぶりに岩手県で開催。河川の出水に備え、水防体制の強化と地域の水防技術・水防意識の向上を図ることを目的として令和5年5月21日に実施。

（参加機関：北上川上流域15市町、自衛隊、日本赤十字社、消防、警察、自主防災組織等の関係機関）

○令和2年度八幡平市総合防災訓練（写真：右側）

台風に伴う大雨により土砂崩れの発生、河川の決壊、家屋の浸水・倒壊、水道・電気などのライフラインの損壊、集落の孤立、さらに落雷による火災が発生したとの想定で、米代川流域の田山地区で行いました。

（参加機関：陸上自衛隊岩手駐屯地、八幡平市、八幡平消防署、岩手警察署、八幡平市消防団、関係自治会）

※本年9月1日の八幡平市総合防災訓練は台風10号の影響のため中止。

実施状況



令和5年度北上川上流総合水防演習に参加した八幡平市水防団



米代川流域田山地区で行われた八幡平市防災訓練の様子

小坂川(小坂町)の河道掘削、伐木の実施【河道掘削 等】

- 河川の流下能力を短期間で向上させ、洪水を安全に流す取組として、河道掘削や伐木を実施する。
- R5年度は、延長L=100m、河道掘削V=5,000m³を実施。
- R6年度も引き続き、河道に堆積した土砂や雑木等の撤去を推進。

(実施機関：秋田県)

実施状況



R5着工前



R5完成

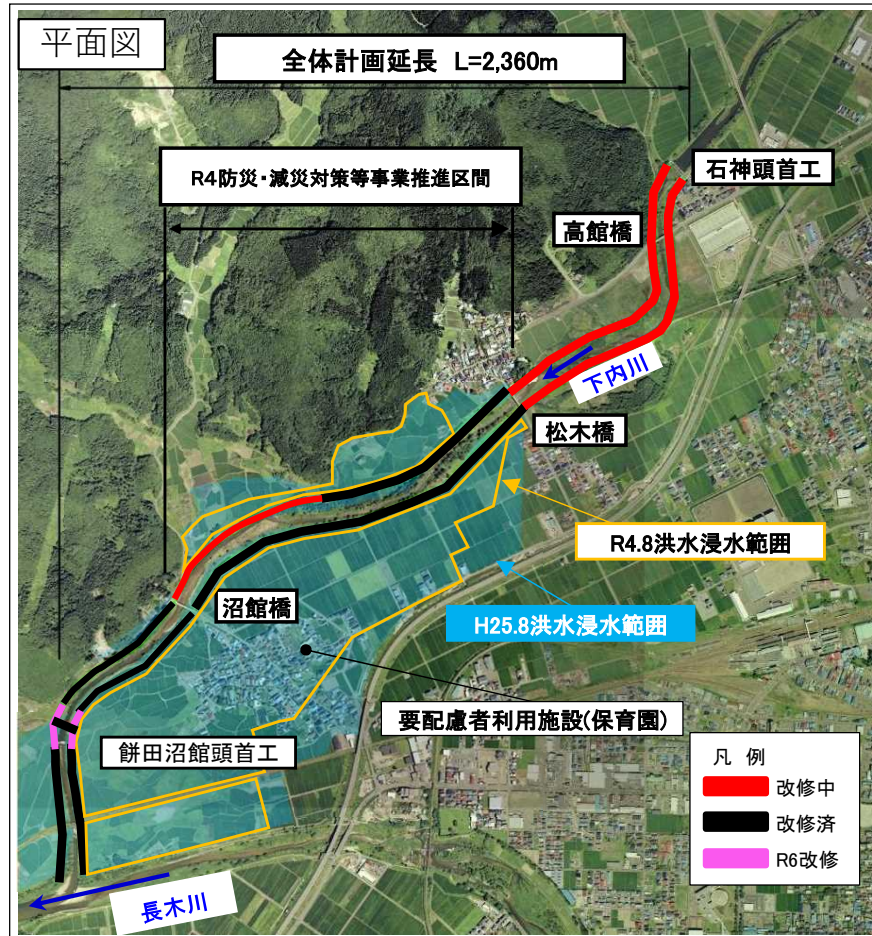
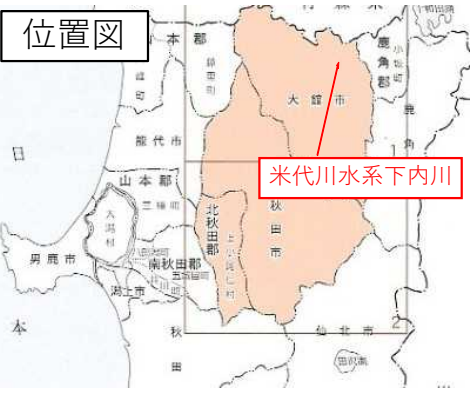


R6施工予定

堤防整備 下内川河川改修の推進（大館市）【堤防整備、河道掘削 等】

下内川下流部の大館市沼館地区は、下内川と長木川合流点付近に位置し、JR・保育所等の重要施設が集積しているものの、現況治水安全度が低く、浸水被害が頻繁に発生していることから、河道掘削及び築堤等による河川改修を早急に行う必要がある。

（実施機関：秋田県）

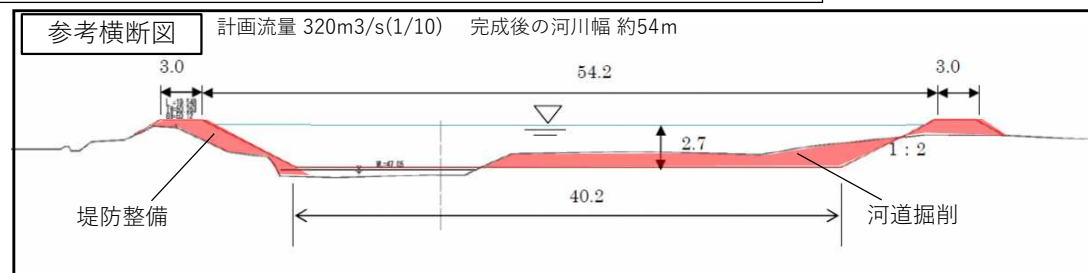


【全体計画】
 河川名：一級米代水系下内川
 事業内容：掘削、築堤、護岸、排水樋管、堰 等
 全体事業費：2,336百万円（国費 1,168百万円）
 事業期間：R3～R10

過去の浸水被害

水害発生年月日	異常気象名	被害家屋戸数			
		全壊 流失	半壊床 上浸水	床下 浸水	計
H8. 7. 2~7. 4	梅雨前線豪雨	0	1	5	6
H21. 7. 17~7. 30	梅雨前線豪雨	0	1	0	1
H25. 8. 9	豪雨	0	51	33	84
R4. 8. 3	豪雨	0	19	36	55

過去の被害状況（令和4年8月洪水）



※今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

砂防堰堤工 館ノ下沢(大館市) 【砂防堰堤等の新設及び既設砂防堰堤の機能改良、流木対策】

○館ノ下沢は秋田県北部の大館市に位置し、保全対象として特別養護老人ホーム山館苑、第2次緊急輸送道路である国道103号を含む土石流危険渓流である。
 ○流域内では溪岸侵食及び山腹崩壊が発生しており、不安定土砂や倒木が堆積している。
 ○要配慮者利用施設および緊急輸送道路等を保全することを目的に砂防えん堤工を整備し、土石流災害から民生の安定を図るものである。

(実施機関：秋田県)

○箇所概要 保全対象：特別養護老人ホーム山館苑 【要配慮者利用施設】
 国道100m 【第2次緊急輸送道路】
 人家13戸
 実施内容：砂防えん堤 1基 ※令和6年度は本堤工を実施予定

位置図



館ノ下沢
(大館市山館地内)



凡例

- : 溪流
- : 氾濫想定区域
- : 施工位置
- : R5以降
- : 保全対象
- : 主要交通

溪床荒廃状況



保全対象

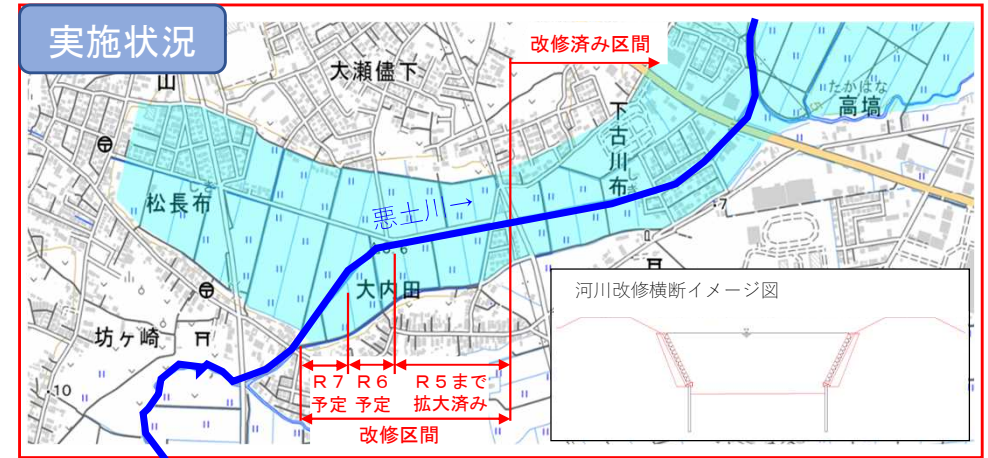


特別養護老人ホーム山館苑

悪土川水災害対策プロジェクト(能代市) 悪土川河川改修の推進【堤防整備、内水被害の軽減 等】

- 河道掘削、築堤等により河道断面を拡大し、流下能力を向上させる。
- R5年度は、延長L=115m、築堤・護岸工A=128m²を実施。
- R6年度も引き続き、河道断面の拡大工事を推進。

(実施機関：秋田県)

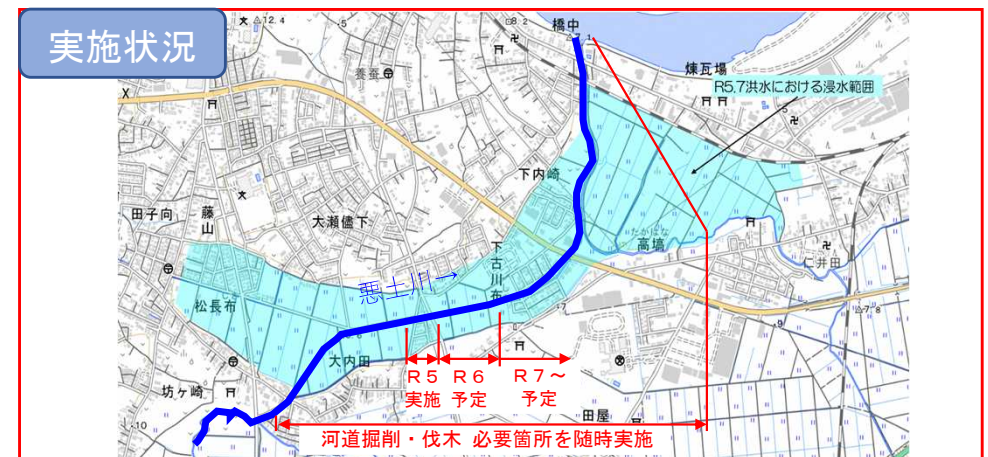


悪土川 河川改修区間と年度別実施予定

悪土川水災害対策プロジェクト(能代市) 悪土川の河道掘削、伐木の実施【河道掘削、内水被害の軽減 等】

- 河川内に堆積した土砂の撤去や、繁茂した雑木の伐採を行う。
- R5年度は、延長L=150m、河道掘削V=750m³を実施。
- R6年度も引き続き、河道に堆積した土砂や雑木等の撤去を推進。

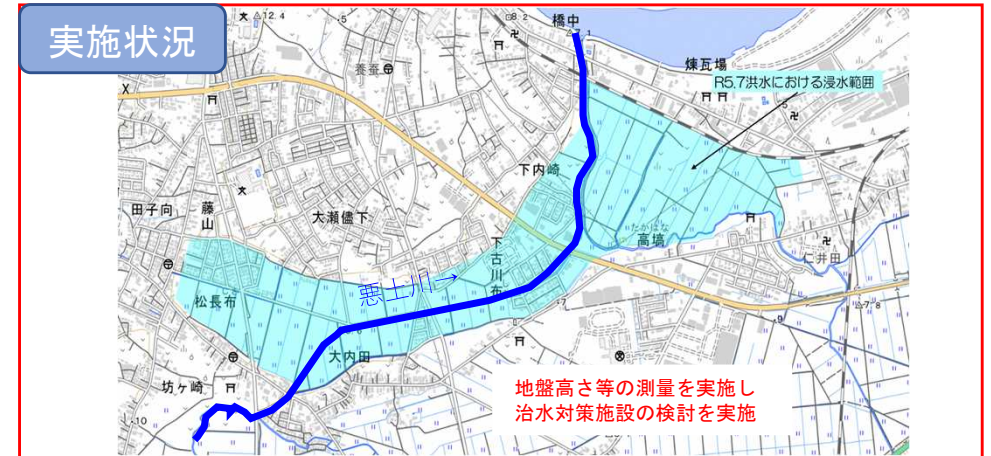
(実施機関：秋田県)



悪土川 河道掘削・伐木実施区間と年度別実施予定

- 浸水被害が生じる箇所において、土地利用を踏まえた河道整備以外の様々な治水対策を検討し、家屋浸水の解消を図る。
- R6年度は、地盤高さ等の測量を実施し、得られた地形データを基に家屋浸水解消に対して効果的な治水対策施設の検討を行う。

(実施機関：秋田県)



悪土川沿線の家屋位置 と R5.7洪水の浸水範囲

- 浸水頻度の高い地域に県で河川カメラを、能代市で照明灯を設置し、沿川住民が河川の様子を24時間リアルタイム映像で確認できるよう情報提供する。
- R6年8月現在、カメラと照明灯は設置済み。
- R6.9月上旬に、リアルタイム映像の配信ページを整備する。

(実施機関：秋田県、能代市)



河川カメラ設置位置

氾濫をできるだけ防ぐ対策・減らすための対策

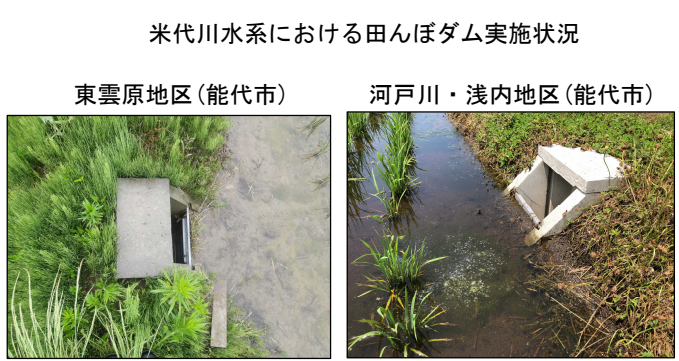
秋田県

○田んぼダムの取組

近年、集中豪雨による災害が頻発化・激甚化し、人家や農作物等への被害が増加している。県では令和3年度から県内のほ場整備事業実施中地区において、田んぼダムの実証を開始し、拡大を進めている。

田んぼダム

- 水田の排水口への堰板の設置等による流出抑制によって下流域の湛水被害リスクを低減
- 下流に守るべき市街地等がある水田地帯で実施（農業者の協力必須）



■これまでの取組状況

取組① 実証モデル地区の設置

田んぼダムの効果や課題を検証

地区名	流量調整方法
1 下淀川	調整板(丸孔)
2 東雲原	調整板(スライド式)
3 河戸川・浅内	調整板(スライド式)
4 畑屋中央	調整板(丸孔)
5 金足西部	調整板(丸孔)
6 四ツ小屋北	ホリ製フロート型

田んぼダム実証地区 (R6)

取組② 田んぼダムセミナー・報告会の実施

関係機関が集まり、取組状況や課題等について報告や意見交換を実施

現地で意見交換

田んぼダム報告会

取組③ 田んぼダム通信

田んぼダムの取り組みについて

- 田んぼダム通信【第8号】の発行について (2023年06月21日)
- 田んぼダム通信【第7号】の発行について (2023年01月11日)
- 田んぼダム通信【第6号】の発行について (2022年11月07日)
- 田んぼダム通信【第5号】の発行について (2022年07月25日)
- 田んぼダム通信【第4号】の発行について (2021年11月09日)
- 田んぼダム通信【第3号】の発行について (2021年08月11日)
- 田んぼダム通信【第2号】の発行について (2021年06月29日)
- 田んぼダム通信【第1号】の発行について (2021年05月24日)

美の国秋田HP

田んぼダム実証地区の取組などの情報発信

美の国秋田HPより

田んぼダム・ため池フォーラム開催！

田んぼダム通信

○田んぼダムの取組

■ R6年度の主な取組(予定)

1. 田んぼダムの普及活動

1-1 教育機関および土地改良区等へ出向き、模型を用いて「出前講座」を開催するなど、取組に対する理解促進と面積拡大に向けた普及活動を行う。

1-2 農水省が制定した「田んぼダム」の手引きや実証地区の成果等を踏まえ、秋田県版としての「田んぼダム技術マニュアル」を作成した。（令和5年6月30日発行）マニュアルを用いて説明会の開催やホームページへの掲載等により、周知を図る。

2. 流量調整板の口径等の検討

研究機関と連携し、田んぼダムの貯留機能と排水に要する時間の検証を行い、効果的な口径や位置等を検討する。



○森林の整備及び保全

- ・森林整備：適切な森林整備を行うことにより、森林の水源かん養機能と土砂流出防止機能が向上し、米代川の流域治水を促進します。
- ・路網整備：森林整備を促進するための基盤となる路網整備を行います。
- ・治山：溪間工、山腹工、地すべり防止工等を実施し、崩壊地の復旧や流出土砂の抑制などにより、米代川の流域治水を促進します。

森林整備のイメージ



植栽



下刈



間伐

路網整備のイメージ



林道



林業専用道



森林作業道

治山のイメージ



溪間工

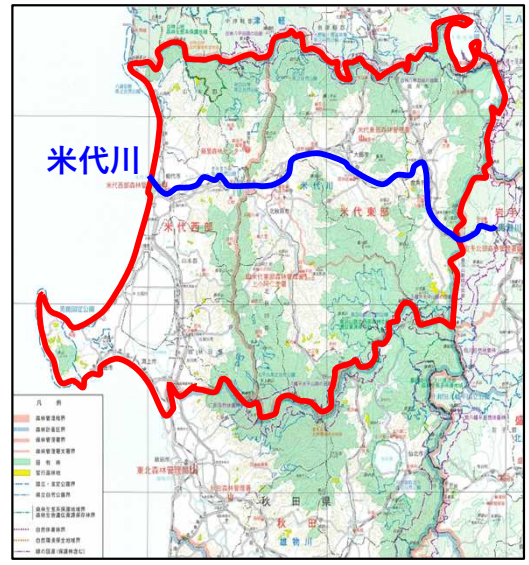


山腹工

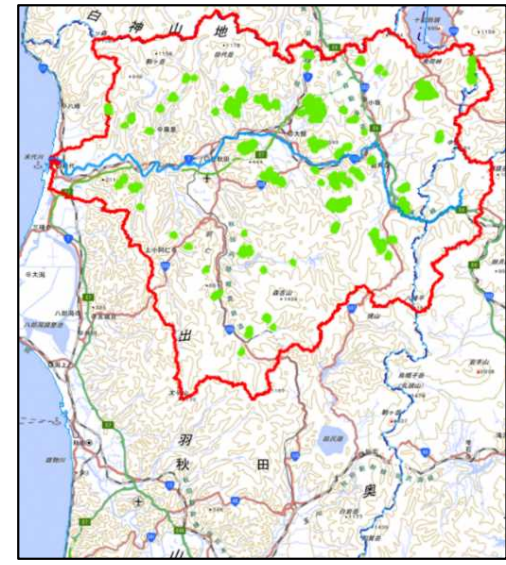


地すべり防止工

東北森林管理局の整備区域
国有林(図の赤枠内緑色部分)



森林研究・整備機構森林整備センター
の整備区域
水源林造成事業地(図の赤枠内黄緑部分)



* 水源林造成事業地
奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所

秋田県の整備区域：民有林全域
* 路網整備(林道、林業専用道)と治山は事業主体として整備します。
森林整備(森林作業道を含む)は、適切な取組に対して、森林環境保全整備事業により支援します。

※具体的な対策内容については関係機関で調整中であり、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

「県民防災の日」訓練

☆令和6年5月24日（金）、災害対応能力の向上を図るため、大規模災害発生時における県及び関係機関との情報伝達及び連携訓練を実施しました。

☆本年は、例年の情報伝達訓練（災害対策本部訓練）のほか、能登半島地震を踏まえ、地理的条件が似ている男鹿半島での連携訓練（実動訓練）として、男鹿市戸賀地区が孤立したとの想定の下、海上からの救援物資と秋田DMA Tの輸送訓練を実施しました。

- 被害想定：マグニチュード7.9、震源の深さ約10km、県内最大震度6弱、大津波警報発令（予想される津波の高さ10メートル）
- 災害派遣要請区域：秋田市、能代市、男鹿市、八峰町

（実施機関：県総合防災課、男鹿市、秋田地方気象台、秋田海上保安部、陸上自衛隊、航空自衛隊秋田救難隊、秋田地方協力本部、東北管区警察局、秋田県警察
東北電力株式会社、東北電力ネットワーク、NTT東日本、秋田県LPガス協会、秋田市消防本部、秋田DMA T、秋田県倉庫協会）

実施状況



事務局会議の開催状況



リエゾンの活動状況



秋田DMA Tの海上輸送の状況

気象防災ワークショップ

☆大雨による土砂災害や洪水が懸念される状況において、気象庁から提供される防災気象情報等を適切に活用し、的確なタイミングで体制の強化や避難の判断を実施できるようになるための基本的な考え方を理解するとともに、その重要性を認識するため、各市町村及び各地域振興局の防災担当者を対象に実施しています。

☆気象台が発表する防災気象情報への理解と災害対応への活用方法等に関する座学研修（講義）のほか、気象台から提供される各情報を元に、体制の強化や避難指示等発令のタイミングなどについて検討・発表することで、判断のポイントを学びました。

開催日：令和6年6月4日（火）

参加者：市町村及び地域振興局：34名

（その他、事務局側：気象台12名、総合防災課3名）

（実施機関：秋田地方気象台、秋田県総合防災課）

実施状況



座学研修の様子



グループワークの様子

秋田県防災アドバイザー派遣事業

☆地域全体の防災意識向上や地域の実情に応じた自主防災組織の結成促進、活動の活性化を支援するため、秋田県防災士会と連携し、防災士を「防災アドバイザー」として自主防災組織、自治会、教育機関、その他各種団体等に派遣し、きめ細やかなアドバイスを行いました。

☆防災アドバイザーは、自主防災組織の運営、日常的な防災活動、災害対応力の向上、防災知識の普及及び啓発、ハザードマップの周知、「マイ・タイムライン」の普及啓発、地区防災計画の策定支援など、申込内容（要望）に応じた様々な支援等活動を行っています。

【最近の実績】

- ・令和3年度 12回（※新型コロナウイルス感染症拡大のため、申込減少または中止あり）
- ・令和4年度 30回
- ・令和5年度 32回

（実施機関：秋田県総合防災課、NPO法人秋田県防災士会）

実施状況



講演の様子



演習の様子

大館北秋田地域防災力強化研修

令和6年6月14日

場 所 北秋田地域振興局

参加者 大館市、北秋田市、上小阿仁村、大館市消防本部、北秋田市消防本部、大館警察署、北秋田警察署、能代河川国道事務所（計18名）

講 師 秋田地方気象台

内 容 秋田地方気象台を講師として防災気象情報について学習した。
ワークショップ形式により河川氾濫を想定とした際の対応の流れについて学習した。
参加関係機関と災害対応時について情報交換を実施した。

（実施機関：北秋田地域振興局・秋田地方気象台）

実施状況



ワークショップ1



ワークショップ2

山本地域防災力強化研修

☆山本地域振興局と秋田地方気象台が共催で、能代山本地域における大規模災害発生に備え、防災気象情報の利活用、初動対応手続き、県、市町、防災関係機関の連絡体制の確認と、演習によって職員の危機対応力を強化することを目的に6月19日研修を実施、12人が参加した。

座学では、気象情報の見方、収集の仕方などを学んだ。ワークショップでは、台風接近で河川が氾濫して洪水発生を想定した際のデータの読み方、避難指示発令のタイミングについて演習を行った。また、参加機関が各々の災害時の備え・対応方法について共有した。

（実施機関：秋田県山本地域振興局・秋田地方気象台）

実施状況



山本地域防災力強化研修

住民参加型避難訓練【自分事化に関する取組】

- 令和6年6月の土砂災害防止月間にあわせ、鹿角市等(全県8地域振興局管内)において、住民参加型の避難訓練を実施
- 避難から避難所開設までの対応訓練に加え、学習会を開催

(実施機関：秋田県)

実施状況



避難実施状況



砂防ボランティアによる学習会

鹿角市花輪高市地区 住民参加型の土砂災害・全国防災訓練

小学生社会科見学（砂子沢ダム）【自分事化に関する取組】

- 砂子沢ダムにおいて、小坂小学校4年生を対象に社会科見学を実施(令和6年6月)ダムの役割について説明

(実施機関：秋田県)

実施状況



ダム見学状況（堤体）



ダム見学状況（監査廊）

砂子沢ダム社会科見学

市町村下水道事業担当課長 様

秋田県建設部
下水道マネジメント推進課長
(公 印 省 略)

令和6年度秋田県浸水対策及び災害対応力強化に関する勉強会の開催について（依頼）

日頃より下水道行政の推進に御尽力いただき感謝申し上げます。

県内では、昨年7月の豪雨により過去最大級の都市浸水が発生しており、内水浸水に対する県民の関心も高まっている状況です。浸水対策に対する理解を深め、効果的な対策を実施する必要があることから、具体的・実践的な内容を学ぶ機会として、浸水対策に関する勉強会を開催します。

また、昨年度より実施している県・市町村合同の下水道BCP訓練について、今年度は県南地区及び由利・にかほ地区を対象に実施することといたしました。訓練に先立ち、災害支援や下水道BCPなどの知識を深めるため、災害対応力向上に向けた勉強会も併せて開催しますので、職員の出席をお願いいたします。

- 1 開催日時 : 令和6年8月27日（火）13:15～16:00
- 2 場 所 : 秋田県 秋田地方総合庁舎6階 607、608会議室
- 3 内 容 : 別紙1のとおり
- 4 出席者報告: 別紙2により報告願います。【提出期限8月7日（水）】

注) 本勉強会は、下水道事業を実施している全市町村を対象としており、今回、佐賀市や水コン協東北支部、(株) ONE・AQITA、秋田市のご協力を得て、開催します。貴重な機会となりますので、積極的な参加をお願いいたします。

また、本勉強会は「あきたの下水道場」として開催するものです。

秋田県建設部 下水道マネジメント推進課 調整・広域・共同推進チーム 小山田 電話 018-860-2461
--

河道掘削の推進

米代川で洪水の流下を阻害する河川内の堆積土砂や立木の撤去を実施（実施機関：岩手県）



実施状況



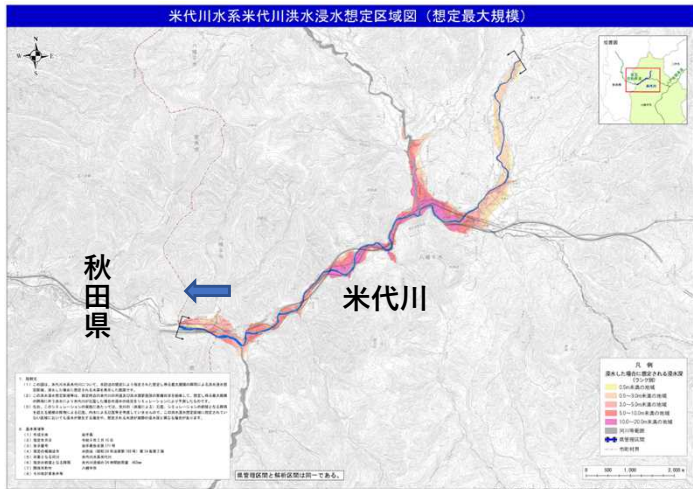
施工前



施工後

想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図の公表

米代川水系の6河川（米代川、瀬の沢川、兄川、矢神川、大又沢川、根石川）について、令和6年3月15日に洪水浸水想定区域図を公表。
岩手県側の米代川水系の全ての河川で公表が完了。



（実施機関：岩手県）

実施状況

岩手県HPで公表

洪水浸水想定区域図の公表

平成27年5月の水防法改正により、「想定し得る最大規模の降雨」で河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域を「洪水浸水想定区域」として指定し、公表しています。
また、令和3年7月の水防法改正により、水位周知河川以外の中小河川においても、洪水浸水想定区域を指定し、公表することとなり、岩手県が管理する313河川のうち住宅等の防護対象のある294河川について、令和7年度にかけて順次指定を進めていきます。

水位周知河川では、想定し得る最大規模の洪水により浸水が予想される区域と深さに加えて、浸水が継続する時間や、河岸が崩れ土地が流出することが想定される「家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食）」と氾濫時に家屋の倒壊や流出をまわることが想定される「家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）」についても公表しています。

指定による効果

洪水浸水想定区域の指定及び周知により、大雨・洪水時の水害リスク情報を把握することが可能となり、以下の効果が期待されます。

- (1) 市町村においては、地域防災計画の見直しや洪水ハザードマップの作成による避難体制の強化
- (2) 要配慮者利用施設においては、避難確保計画の作成及び避難訓練の実施による円滑かつ迅速に避難できる体制の構築

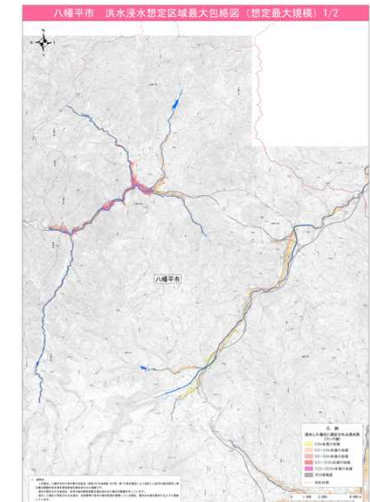
岩手県が管理する河川の洪水浸水想定区域図は以下の地域毎にまとめて公表しています。

盛岡地域

関係市町村：盛岡市、滝沢市、雫石町、矢巾町、紫波町

岩手地域

関係市町村：八幡平市、岩手町、葛巻町

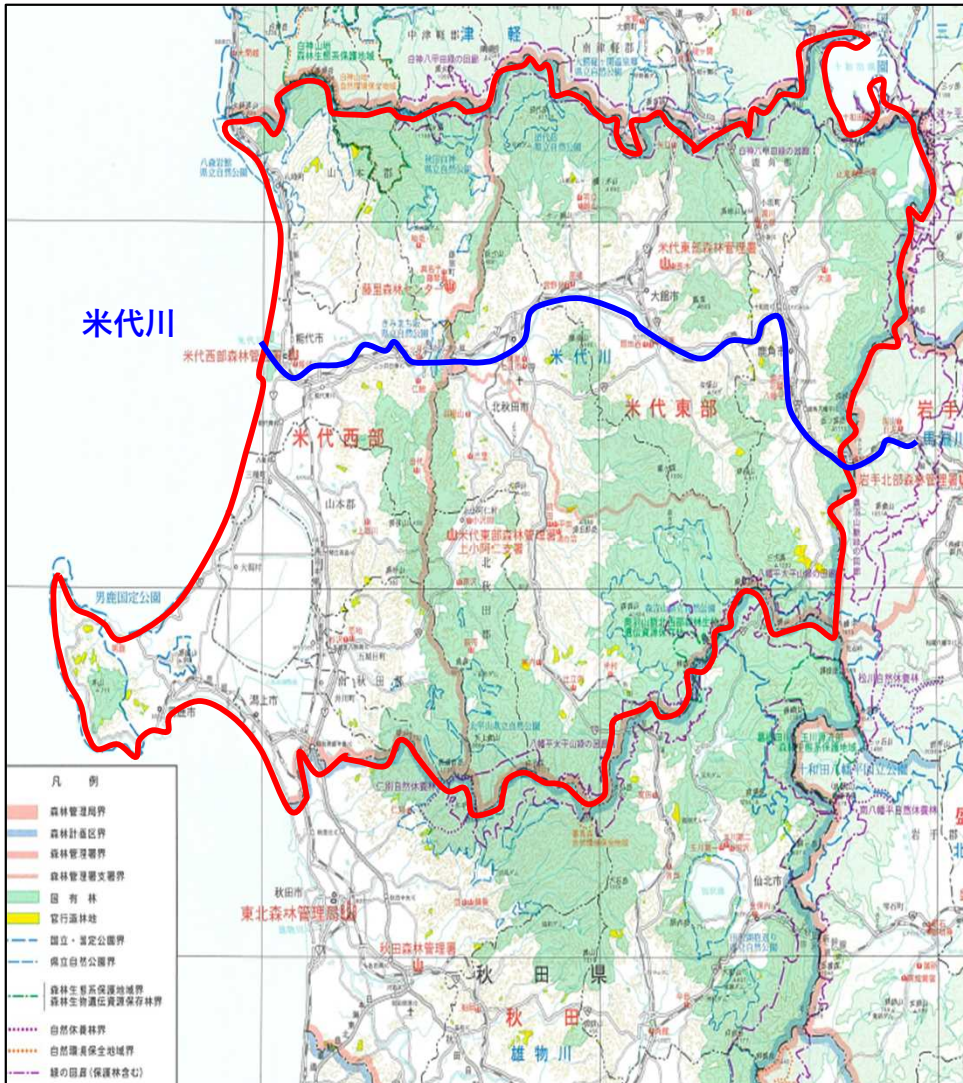


6河川の包絡図も公表

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

森林整備：森林の有する水源かん養機能や土砂流出防止機能の適切な発揮に向けて森林整備事業を実施します。
路網整備：森林整備を促進するための基盤となる路網整備を行います。
治山：山腹工、溪間工等を実施し、崩壊地の復旧や流出土砂の抑制などにより、米代川の流域治水を促進します。

(実施機関:米代東部森林管理署)



- 東北運輸局HPに「公共交通機関運行情報」として、各鉄道事業者の運行情報を確認できるように、各鉄道事業者HPへのリンクを配置した。
 - 気象庁から適時発表される気象情報について、東北管内の各鉄道事業者に情報提供し、注意喚起を図った。
 - 東北管内の鉄道事業者で構成する鉄道保安連絡会議を開催し、気象情報の活用等、安全運行に資する情報交換等を行った。
 - 令和6年7月25日からの大雨災害の対応のため、7月31日に「鉄道等の災害復旧に係る事業間連携に関する地方連絡調整会議」（東北地方整備局、東北運輸局、鉄道事業者等）を開催し、道路管理者や河川管理者と連携し、被災した鉄道の早期復旧に向けた手続きの円滑化等を確認した。
- （実施機関：東北運輸局鉄道部）

実施状況

東北運輸局ホームページより

The screenshot shows the homepage layout with a red box around the left sidebar and the main content area. A red arrow points to the '公共交通機関運行情報' link in the sidebar.

災害・防災情報 ▶安全・防災・危機管理 ▶防災ポータル(国土交通省HPへ)	分野別情報 観光 公共交通の維持・活性化 自動車の検査・登録 鉄道 バス・タクシー・トラック パリアフリー 海運・船舶・船員 環境 物流・倉庫	東北運輸局「基本構想」 トラックGメン・2024年問題 人材確保・育成サイト うみふね 海と船の情報ポータルサイト 東北版 運輸・観光のDX 東北運輸局 公式 @mlit_tohokuunyu 東北運輸局マスコット
公共交通機関運行情報 ▶公共交通機関運行情報		
総合案内 ▶総合案内 ▶組織と業務 ▶運輸要覧 ▶採用情報 ▶東北運輸局へのアクセス・バリアフリー情報 ▶支局・事務所のご案内		

☆河道内の土砂を掘削することにより、川の断面積を大きくして、水を流れやすくします。

☆令和6年度は中川原工区で実施します。

☆能代地区河道掘削事業は、能代地区の「5工区」の河道掘削を予定しています。
下流から上流に向かって順次、掘削を行います。

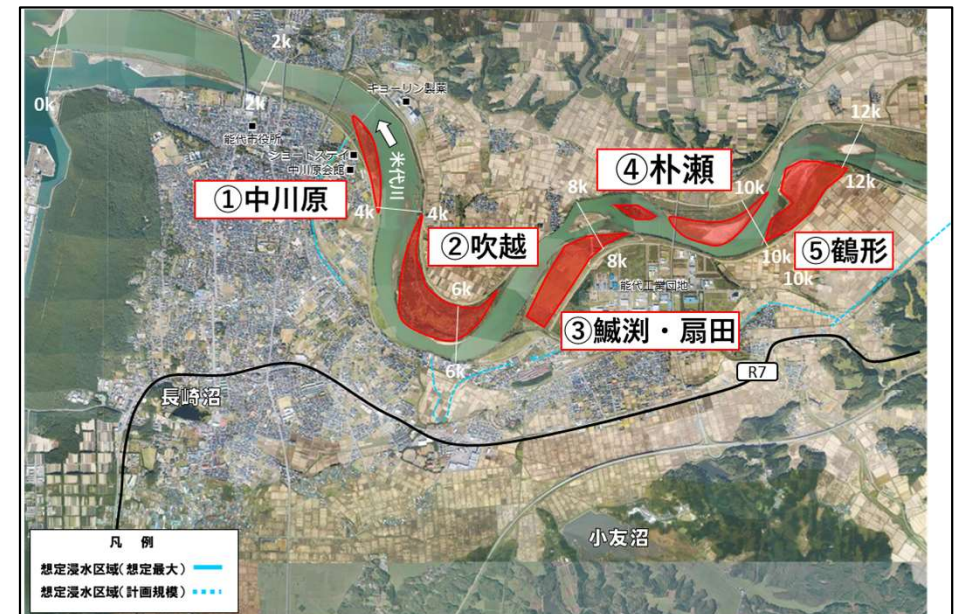
(①中川原工区 ⇒ ②吹越工区 ⇒ ③臈淵・扇田工区 ⇒ ④朴瀬工区 ⇒ ⑤鶴形工区)

(実施機関：能代河川国道事務所)

実施状況



米代川能代地区河道掘削事業 中川原工区



米代川能代地区河道掘削事業 整備計画

米代川扇田地区堤防整備事業

☆堤防の嵩上げを行うことにより、洪水時の安全度が向上し、重要施設や家屋が集中する周辺地域を洪水被害から守ります。

☆令和6年度は、堤防整備を実施し、事業を完了させます。

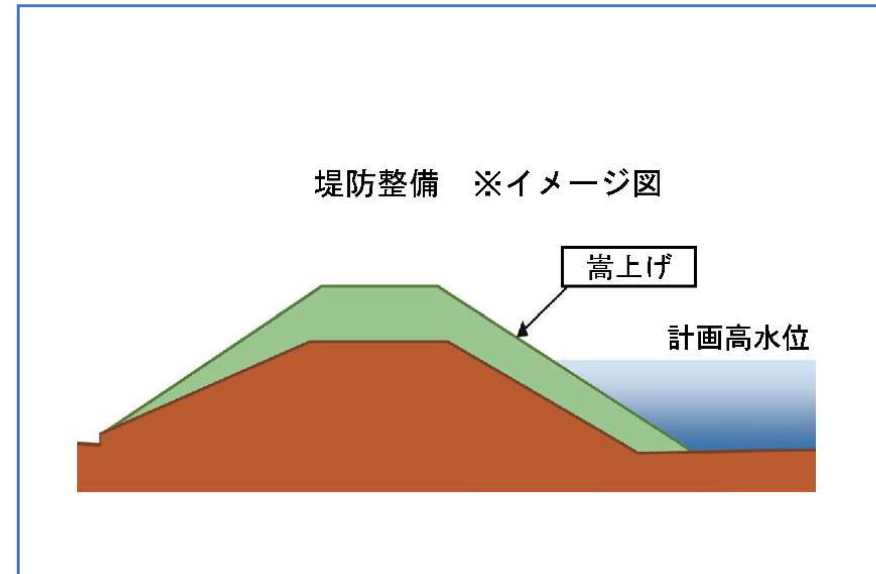
(実施機関：能代河川国道事務所)



実施状況



米代川扇田地区堤防整備事業 整備箇所



堤防整備イメージ図

☆鹿角市立十和田小学校

テーマ：「水害における避難の仕方、身の守り方について」

対象者：全校児童（1～6学年）245人

教職員20人 保護者・地域住民等10名

開催日：令和6年7月10日（水）

☆ジュニアボランティアスクール（社会福祉協議会主催）

テーマ：「水害について学ぼう」

対象者：スクール参加者（小学4年生～中学2年生）9人

開催日：令和6年7月30日（火）

（実施機関：能代河川国道事務所）

実施状況



十和田小学校



座学



VRを使用した洪水体験

ジュニアボランティアスクール

『米代川 水害・防災パネル展 ～流域治水の取り組み～』の開催

☆近年、異常気象により全国各地で甚大な洪水被害が毎年のように発生しており、米代川も決して例外ではないことから、過去の洪水を今一度振り返り、水害の恐ろしさを改めて伝えと共、洪水被害を軽減するための取り組みを紹介し、防災意識の啓発を行うことを目的に『水害・防災パネル展』を開催しました。

場所：イオンタウン能代

期間：令和6年10月10日～10月24日

(実施機関：能代河川国道事務所)

実施状況



パネル展の様子

悪土川排水機場稼働訓練の実施

☆令和6年4月24日（水）、本格的な出水期を前に、悪土川排水機場にて稼働訓練を実施しました。

☆この訓練は、洪水時に迅速な対応ができるよう、改めて的確な操作手順を確認するため、能代市河川国道事務所と維持工事業者が合同で実施しています。

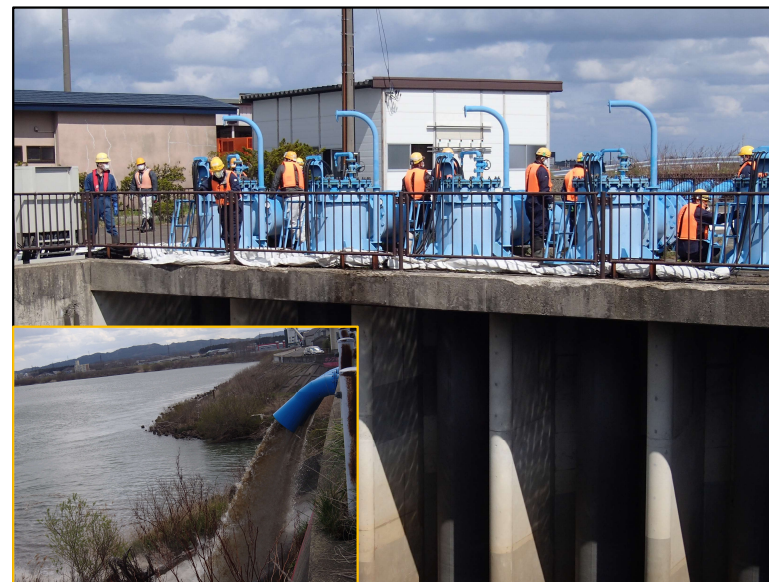
排水ポンプ車の稼働訓練も併せて行い、正常に稼働することを確認しました。

（実施機関：能代河川国道事務所）

実施状況



悪土川排水機場稼働訓練の様子



悪土川排水機場稼働訓練の様子